

# 日本心理学会「注意と認知」研究会 第14回合宿研究会プログラム

(2016年3月13日～15日 ホテルサンルートプラザ名古屋) 最終版

	受付	12:45-13:25		
13 SUN	大局的 視覚情報 処理	13:30-14:00	1 表情判断における全体処理の役割 横山 武昌 (名古屋大学/日本学術振興会)・安原 秀和 (神戸大学)・ 澁木 慎太郎 (神戸大学)・大平 英樹 (名古屋大学)・ 野口 泰基 (神戸大学)・喜多 伸一 (神戸大学)	
		14:00-14:30	2 グループの平均表情知覚の正確性 上田 祥行 (京都大学)	
		14:30-15:00	3 顕著性とアンサンブル情報の眼球運動への影響 熊切 俊祐 (京都大学)・上田 祥行 (京都大学)・齋木 潤 (京都大学)	
		15:00-15:30	4 シーンの意味と構造が眼球運動に与える効果-写真画像とノイズ画像の比較研究- 鎌倉 裕介 (京都大学)・上田 祥行 (京都大学)・齋木 潤 (京都大学)	
	多感覚 処理	15:45-16:15	5 共感覚色分布の探索的解析 濱田 大佐 (京都大学)・山本 洋紀 (京都大学)・齋木 潤 (京都大学)	
		16:15-16:45	6 和音と色の感覚間協応の規定因の検討 熊倉 恵梨香 (東京大学)・武藤 あゆみ (東京大学)・横澤 一彦 (東京大学)	
		16:45-17:15	7 身体運動が単一光点の運動知覚に与える影響 光松 秀倫 (名古屋大学)	
	【特別講演】	17:30-18:30	28 胎児期からの認知発達の構成論的科学にむけて 國吉 康夫 (東京大学)	
	懇親会			
	14 MON	注意と 個人差	9:15-9:45	8 注意欠陥多動性障害児における注意捕捉の検討： 完全非関連刺激による視覚探索の妨害 奥村 安寿子 (国立精神・神経医療研究センター)・ 北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター)・ 鈴木 浩太 (国立精神・神経医療研究センター)・ 稲垣 真澄 (国立精神・神経医療研究センター)
9:45-10:15			9 自閉症スペクトラム傾向が選択的注意に及ぼす影響 増田 奈央子 (久留米大学)・園田 直子 (久留米大学)	
10:15-10:45			10 注意範囲のメタ認知に及ぼす知識および専門職経験の影響 石松 一真 (滋慶医療科学大学院大学)	
文脈効果		11:00-11:30	11 囚人のジレンマ課題の利得表を複数呈示することによる文脈効果が協力率 およびその推定値に及ぼす影響 川合 裕基 (立教大学)・都築 誉史 (立教大学)・千葉 元気 (立教大学)	
		11:30-12:00	12 競合文脈・抑制文脈の位置における魅力低減効果 蔵富 恵 (北海道大学)・河原 純一郎 (北海道大学)	
		12:00-12:30	13 報酬予測行動中の特徴提示がValue-Driven Attentional Captureを生じさせる 峯 知里 (京都大学)・齋木 潤 (京都大学)	
昼食 (各自)・運営委員会				
視覚探索		14:00-14:30	14 表情刺激の年齢要因が視覚探索課題に与える影響 惟村 恵理子 (お茶の水女子大学)・石口 彰 (お茶の水女子大学)	
		14:30-15:00	15 局所的な顕著性の差が引き起こす探索非対称性 山下 純平 (京都大学)・熊田 孝恒 (京都大学/理化学研究所)	
		15:00-15:30	16 画像の記憶のしやすさと視覚的注意の関係 李 琦 (東京大学)・横澤 一彦 (東京大学)	
短期記憶	15:45-16:15	17 質感の視覚性短期記憶の照明変化に対する頑健性 津田 裕之 (京都大学/日本学術振興会)・齋木 潤 (京都大学)		
	16:15-16:45	18 視覚情報内におけるワーキングメモリ容量独立性 真田 原行 (東京大学)・池田 功毅 (中京大学)・長谷川 寿一 (東京大学)		
視覚と 行為	17:00-17:30	19 サイモン効果は反応頻度の偏りによって変化する 渡辺 友里菜 (愛知淑徳大学)・吉崎 一人 (愛知淑徳大学)		
	17:30-18:00	20 行動目標が注意の割り当てに与える影響：刺激の顕著性の操作による検討 川島 朋也 (神戸大学/日本学術振興会)・松本 絵理子 (神戸大学)		
特別企画	18:00-18:30	21 注意と認知研究の最前線：Glyn Humphreys先生を偲んで 熊田 孝恒 (京都大学/理化学研究所)・岩井 律子 (理化学研究所/京都大学)		
夕食 (ホテル近くのお店を予約してあります。自由参加)				

15  
TUE

感情・  
美感

- |             |  |
|-------------|--|
| 9:15-9:45   | 22 無意識的処理過程に不快喚起特性が与える影響<br>白井 理沙子 (関西学院大学)・小川 洋和 (関西学院大学)                             |
| 9:45-10:15  | 23 背景画像と表情画像の感情価がLPP振幅に及ぼす影響のその性差<br>加戸 瞭介 (筑波大学/産業技術総合研究所)・<br>武田 裕司 (産業技術総合研究所/筑波大学) |
| 10:15-10:45 | 24 芸術作品に対する感性応答の定量評価<br>若林 正浩 (大阪大学)・北口 正敏 (大阪大学)・<br>佐藤 宏道 (大阪大学)・内藤 智之 (大阪大学)        |

空間と  
認知

- |             |  |
|-------------|--|
| 11:00-11:30 | 25 デルブーフ錯視はなぜ生じるのか<br>西村 友佳 (近畿大学)・中谷勝哉 (近畿大学)   |
| 11:30-12:00 | 26 心的視点変換は角度差に応じて質的に異なる2つのスキルを要求する<br>-実験データへの探索的因子分析の適用-<br>武藤 拓之 (大阪大学)・松下 戦具 (大阪大学)・森川 和則 (大阪大学)                                      |
| 12:00-12:30 | 27 自己に関する空間知覚の特性 -道路形状情報に基づく自己方向・自己位置知覚-<br>中島 亮一 (理化学研究所)・岩井 律子 (理化学研究所/京都大学)・<br>上田 彩子 (理化学研究所)・日根 恭子 (理化学研究所)・<br>熊田 孝恒 (京都大学/理化学研究所) |